

防水機能を有する橋梁床版レベリング舗装技術

ハイパーグース



山口県内 高速道路

概要

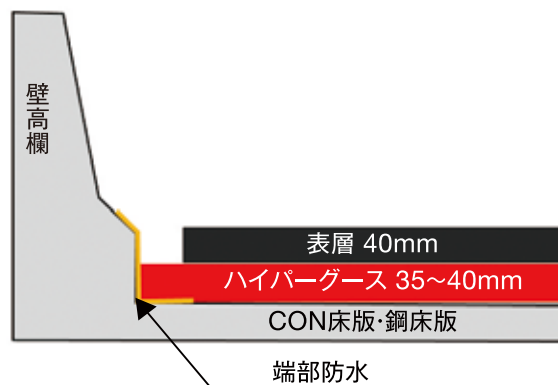
ハイパーグースは、通常のグースアスファルト舗装の特長である防水性・たわみ追従性と優れた耐流動性を併せ持つ、流し込み舗装工法です。通常のグースアスファルト舗装より低い混合物温度での施工が可能で、橋梁コンクリート床版のレベリング層として適用可能です。



ハイパーグース荷卸し状況

特長

- 1 通常のグースアスファルト舗装より低い温度で施工可能なため、ブリストリング現象を抑制でき、コンクリート床版と鋼床版に適用可能です。
- 2 通常のグースアスファルト混合物に比べて優れた耐流動性を持ち、わだち掘れ量の軽減が期待できます。
- 3 硬質アスファルトを使用しないため、通常のグースアスファルトの独特な臭気を抑えることができます。



ハイパーグース施工例

適用・用途



橋梁



道路



高速道路

適用箇所

- コンクリート床版
- 鋼床版

用途

- 橋梁床版上の防水層兼レベリング層

※新設工事、補修工事ともに適用可能です

施工手順

既設舗装を撤去し、下地処理（研掃、プライマー処理）を行ったのちに、通常のグースアスファルト舗装と同様の機械及び手順にて行います。

①



②



③



- ① 既設舗装の撤去
- ② 下地処理（研掃）
- ③ 下地処理（プライマー塗布）
- ④ 混合物の製造
- ⑤ 混合物の敷均し
- ⑥ 完成

④



⑤



⑥



- 床版防水としての性能を満足しているため、コンクリート床版のレベリング層に用いることにより床版防水工を省略できます。
- 施工時間の大幅な短縮につながり、特に時間制約のある供用中の道路での適用が期待できます。
- 鋼床版にも適用できます。

従来工法
(床版防水工+橋梁レベリング工)

既設舗装
撤去工

下地処理工

床版防水工

橋梁レベリング工
(SMAなど)

養生工

表層工

新工法
(ハイパーグース)

既設舗装
撤去工

下地処理工

橋梁レベリング工
(ハイパーグース)

養生工

表層工

施工時間

補修工事の際の施工時間短縮のイメージ(コンクリート床版)

※ハイパーグースは、(株)高速道路総合技術研究所、ニチレキ(株)と当社との共同開発技術であるBLG (Bridge Levelling Guss Asphalt) の当社商品名です。



道からはじまる未来創造企業

鹿島道路株式会社

本店 〒112-8566 東京都文京区後楽 1-7-27 (後楽鹿島ビル)
営業部 03-5802-8011 技術部 03-5802-8014



担当者

北海道支店 011-699-7744
東北支店 022-216-8501
関東支店 048-872-8001
東京支店 03-5802-8021

横浜支店 045-312-8061
北陸支店 025-243-3851
中部支店 052-204-0770
関西支店 06-6910-3701

中国支店 082-567-4567
四国営業所 087-885-5800
九州支店 092-451-4356
技術研究所 048-053-3492